

ふれあい部行事の紹介について

ふれあい部部長 安藤 晃

芸術の森地区社会福祉協議会には福祉のまち推進センターがあります。センターには、四つの部会がありそれぞれ色々な行事を行っていますが、今回はふれあい部を紹介します。部では、皆様の日常の悩み事について毎日（午後一時～四時の間）連絡所でTEL五九三二二〇二二の電話と直接面接でご相談を受け賜わっています。細々なことでも気軽にご相談下さい。お待ち申し上げております。

その他皆様に好評な日帰りふれあい旅行も行っています。今年は、石狩「番屋の湯」日帰り



美唄市雪冷房システム利用各種施設探訪研修見学会開催

調査研修部長 野中晴彦

介護老人保健施設・コミュニティホール美唄

去る十月十七日(木)調査研修部の主催で、全国的にも先駆的な雪冷房システムを利用した各種施設を四十名の方々と見学研修した。介護老人保健施設では、時期的に最後の氷の固まりが少々残っていただけでしたが、冷房システムは間違いなく作動していく心地良い冷気を浴びました。氷室貯蔵研究所では、野菜味噌、漬け物等が低温による発酵、熟成によりアミノ酸成分が増床され、味も一味も美味しいなつた味噌や漬け物等が醸



J.A.ひばい氷室貯蔵研究所



貯蔵室

成されています。米穀雪零温貯蔵施設「雪藏工房」は玄米六千トンを貯蔵出来る施設で五℃の低温を保ち、施設の経済性や環境調査などを基礎に大規模冷温食糧備蓄基地構想をかかげ雪の冷熱利用の中核として市の事業展開を強力に押し進めていた。

有意義な、美唄市の見学研修を終え、少し遅めの昼食のため、北村温泉に移動し、入浴と「昼食」懇談の後、予定通り帰路についた。

ため先着順の申し込みを行つて思つてあります。新年度も無い智恵をしぶり、アイディアを生かして、楽しい催しを企画致しまして皆様に喜んでいただける様、頑張りますのでご期待下さい。

生活に「ハリ」を持つどう

石山東明正会会長 星重男

人間生きていれば年齢をかさねるのは当たり前であるのに、まさか私が八十歳越えて生きているとは、自分自身ビックリしている。若い時に占い師に見てもらった事があったが、その占い師は「貴方には失礼だが、早死の相が出てる」と言われ、がっかりした時もあった。しかし、当たるも八卦当たらぬも八卦とよく言ったのですが、自分が八十歳を越えて生きているが、昔と違い今まで若い気でいるので年寄りになつた気がしない

方へ、ボランティアに少しでも参加しましょう。五歳は若く見られる事を目標にして自分自身をふるい立たせ、背筋をピンと直して生活に張りを持ち若い気持で長生きして行きましょう。

福祉のまちづくりについて

芸術の森地区福祉推進部

部長 松田正輝

「情報センターそらぬま」 芸術の森地区会館内に開設

3月4日から皆様方のお部屋として、オープンします。町内会や福祉の打合せ、インターネットの出来るパソコン、茶器などを用意してお待ちしています。

私達が、毎日生活しているこの町は、快適でしょうか。新聞やテレビで報道される暗いニュースは、私達の生活と無縁ではありません。子供から高齢者までが安心して楽しく暮らしてゆくためには、先ず身近なことから始めてしまませんか。ボランティアによる街に「花を咲かせる会」も活動をしています。私達の町内会では、一人暮らしの方との昼食会や、老若男女で楽しめるカルタ会をしては、皆さんとの「ふれあい」を大切にしています。

この度は、「雪だるまづくり」にも挑戦してみました。これか

い。皆さんも自分はまだ若いのだ。これから第二の人生が始まり、まだまだ先が長いのだと考えを新たにしましょう。一夜漬けで無く、長期に頑張ろうとの目標を立て健康作りをしていきましょう。そして、時間のある方は、ボランティアに少しでも参加しましょう。五歳は若く見られる事を目標にして自分自身をふるい立たせ、背筋をピンと直して生活に張りを持ち若い気持で長生きして行きましょう。

「つぶやかせ」

民生・児童委員の